

平成 23 年 第 2 回 定 例 会

館 林 衛 生 施 設 組 合 議 会 会 議 録

平成 23 年 10 月 24 日 開 会

平成 23 年 10 月 24 日 閉 会

館 林 衛 生 施 設 組 合

平成23年館林衛生施設組合議会第2回定例会会議録目次

議事日程.....	2
本日の会議に付した事件	2
出席議員.....	3
説明のために出席した者	3
事務局職員出席者	3
開会及び開議	4
諸般の報告	4
議席の指定	4
会期の決定	4
会議録署名議員の指名	4
議案第7号	4
議案第8号	7
管理者の挨拶	10
閉会.....	11
署名議員.....	12

平成23年館林衛生施設組合議会第2回定例会会議録

平成23年10月24日(月曜日)

館林市役所501会議室

議 事 日 程

平成23年10月24日午後2時28分開議

- 第1 議席の指定
- 第2 会期の決定
- 第3 会議録署名議員の指名
- 第4 議案第7号 平成22年度館林衛生施設組合歳入歳出決算の認定について
- 第5 議案第8号 平成23年度館林衛生施設組合一般会計補正予算(第1号)

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員（10名）

1 番	橋本徹君	2 番	篠木正明君
3 番	岡村一男君	4 番	小林信君
5 番	市川初江君	6 番	延山宗一君
7 番	奥澤貞雄君	8 番	野本健治君
9 番	小林正明君	10 番	川田延明君

説明のために出席した者

管理者(館林市長)	安樂岡一雄君
副管理者(板倉町長)	栗原実君
副管理者(明和町長)	恩田久君
副管理者(千代田町長)	大谷直之君
副管理者(館林市副市長)	金井田好勇君
監査委員	始澤昭君
会計管理者	石井正和君
事務局長	阿部正君
施設整備係長	小川清治君

事務局職員出席者

書記 小島和代	書記 奥山浩康
書記 野村浩一	書記 青木裕二

第 1 開会及び開議

(平成23年10月24日午後2時28分開会)

議長(小林信君) ただいまの出席議員は10名であります。定足数に達しておりますので、告示第5号をもって召集されました平成23年館林衛生施設組合議会第2回定例会は成立いたしました。

これより開会し、直ちに会議を開きます。

第 2 諸般の報告

議長(小林信君) まず、諸般の報告をいたします。

事務書記をして報告いたさせます。

事務書記(奥山浩康君) ご報告申し上げます。

去る、8月10日、明和町議会において、当組合議会議員の選挙が行われました。

新たに、奥澤貞雄議員、野本健治議員が当組合議会議員となりました。

以上で、報告を終わります。

第 3 議席の指定

議長(小林信君) 次に、日程第1、議席の指定を行います。

7番、奥澤貞雄君、8番、野本健治君。

以上のとおり、指定いたします。

第 4 会期の決定

議長(小林信君) 日程第2、会期の決定をいたします。

本定例会の会期を本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(小林信君) ご異議ないようですから、さよう決定いたしました。

第 5 会議録署名議員の指名

議長(小林信君) 次に、日程第3、会議録署名議員の指名をいたします。

会議録署名議員に、2番、篠木正明君、3番、岡村一男君を指名いたします。

第 6 議案第7号

議長(小林信君) 次に、日程第4、議案第7号 平成22年度館林衛生施設組合歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

提案理由の説明を願います。

管理者、安樂岡一雄君。

管理者(安樂岡一雄君) 議案第7号 平成22年度 館林衛生施設組合歳入歳出決算の認定について申し上げます。

平成22年度の歳入決算額は、3億3,423万9,310円となり予算に対する収入率は、101.46%でございます。

また、歳出決算額は、2億8,099万5,632円で、その執行率は、85.30%となり、歳入歳出差引残額は、5,324万3,678円でございます。このうちから4,700万円を財政調整基金に積立し、残り624万3,678円を翌年度に繰越すことといたしました。

まず、歳出決算の主な内容について申し上げます。

し尿処理業務におきましては、浄化槽汚泥の処理を中心に、汚泥の質・量の変動に対応しながら、施設の効率的・経済的運転に努めてまいりました。

稼働後20年を経過した「館林環境センター」の維持管理につきましては、老朽化の著しい前処理機械設備の改修工事を実施し、し尿の前処理工程を充実させております。その他の機械設備につきましては、安定した性能を維持するため、各種設備の点検整備を実施し、設備の延命化を図りながら、施設の適正な保全管理に努めてまいりました。

また、し尿収集関係につきましては、管内全域を5業者に委託し、住民サービスの向上に努めてまいりました。

次に、本年度から新規事務となった「ごみ処理施設等の建設事業」について申し上げます。館林市、板倉町及び明和町にて新たな広域処理施設を設け、地区内で発生する一般廃棄物の適正処理及び資源化の推進を図るための準備作業としまして、平成23年度から、循環型社会形成推進交付金を活用した計画支援事業を実施するための基本となります。「循環型社会形成推進地域計画」を作成いたしました。

次に、歳入決算の主な内容について申し上げます。

関係市町負担金につきましては、新規事業が開始されたことを受けまして前年度比6.9%の増額となり、繰入金、繰越金、諸収入のいずれにおきましても前年度より増額となっております。し尿処理手数料につきましては、生活環境の整備等により前年度比0.2%の減少となり、財産収入におきましても減少となっております。

また、組合運営に必要な財源を確保するため、財政調整基金を積極的に活用し、健全な財政運営に努めてまいりました。

以上、決算の概要について申し上げます。

よろしくご審議の上、認定くださるようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

以上でございます。

議長(小林信君) 説明が終わりました。

続いて、監査委員より決算審査の報告を願います。

監査委員、始澤昭君。

監査委員(始澤昭君) 審査の経過及び結果について、ご報告申し上げます。

当組合の平成22年度決算書及び会計書類審査を平成23年8月2日、当組合事務所において小林監査委員さんと共に実施いたしました。その結果は、別紙、当組合議会第2回定例会議案の3ページ、第4. 審査の結果のとおりでございます。

ご一覽をお願い申し上げます。

よって、本会計及び決算書等は適正に表示されていることを認める報告をいたします。

平成23年10月24日、監査委員、小林正明、監査委員、始澤昭。

以上でございます。

議長(小林信君) 説明が終わりました。質疑を行います。

2番 篠木正明君。

2番(篠木正明君) はい、それでは、聞きたいと思います。決算書のページで18ページ、し尿収集処理の中で、焼却灰等搬出処分委託料というのがありますが、これに関連しまして3月11日東日本大震災となる原発事故の影響で例えば下水道の汚泥などは、多量の放射性物質が検出されて、館林市なども一時搬出できないという事態が起きた訳ですけれども、し尿当衛生組合の方のし尿処理場の方の最終的な焼却灰については、その辺の放射性物質の検査ですとか、行ったのかどうか、その結果、問題なかったのかどうか、お尋ねしたいと思います。

議長(小林信君) 事務局長、阿部正君。

事務局長(阿部正君) それではお答えします。館林衛生施設組合、組合の汚泥の焼成灰と言いまして焼却して今まで処分しておりました。処分する際に汚泥自体のセシウムですかセシウムの量について、農水省の方の指導をもちまして、よりまして、200ベクレルを超えた場合は汚泥肥料として使用できませんという指示がきまして、この際、うちの方で分析した結果、その一時200ベクレルを超えてしましまして、その数値は今でも超えています。直近の数値を言いますと800位の数値です。で、200を超えたという事で肥料原料として処分できないということなので、その汚泥については、200から8000ベクレルの間のもは埋立処分して宜しいです。そういう国の方の方針でございます。今現在、北茨城にあります最終処分場、一般廃棄物の最終処分場なんですけれどもそちらの方に処分をお願いしております。以上です。

議長(小林信君) 2番、篠木正明君。

2番(篠木正明君) はい、現状は良く分かりました。そうしますと、今までと処分方法が変わらざるおえない変わってるってことになると思うんですが、そして、決算にはでで、決算とは、また変わりますけれど、これから先ですすねその処分費用というのは今までやっていた処分との関係で、金額的費用には多くなるんでしょうか、少なくなるんでしょうか。

議長(小林信君) 事務局長、阿部正君。

事務局長(阿部正君) はい、今までですと、1トンあたり税込みで2万1,000円だったんですが、今は、北茨城の方に処分をお願いするということになりますと1トン4万2,000円、1トン当たり42,000円になってしまいます。丁度、倍です。以上です。

議長(小林信君) 2番、篠木正明君。

2番(篠木正明君) 倍になるってことになるってことになると本年度予算組んであるのが、足りなくなるということが考えられる訳ですけどもその分については、原発の事故が由来してた被害ですので、当然、東電に対して賠償を求めるとことは必要になってくると思いますが、その辺の考え方はどうなってますか。最後にお聞きしたいと思います。

議長(小林信君) 事務局長、阿部正君。

事務局長(阿部正君) 当然、その辺の費用については、東電のほうに請求していくと考えています。ただ、あの近隣の市町と一緒にその辺を進めていけるかどうか、今のところその辺の話ってというのは、具体的にこの近辺からあがってきてないので、その辺を確認して、まとまって請求するか、また、個別にやっていくかという、その辺は、のちのち、県の方の下水道の汚泥の請求ってのは、何か県がまとめて進めていくような話をちょっと聞きましたけど、その辺の情報を色々収集しながらやっていきたいと思っています。以上です。

議長(小林信君) 質疑を打ち切ります。

討論を行います。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

議長(小林信君) 討論を打ち切ります。

採決いたします。

議案第7号を認定することに賛成の方は、挙手を願います。

(挙手全員)

議長(小林信君) 挙手全員。

よって、議案第7号は認定することに決しました。

第 7 議案第8号

議長(小林信君) 次に、日程第5、議案第8号 平成23年度館林衛生施設組合一般会計補正予算(第1号)についてを議題といたします

提案理由の説明を願います。

管理者、安楽岡一雄君。

管理者(安楽岡一雄君) 議案第8号 平成23年度 館林衛生施設組合一般会計補正予算(第1号)について申し上げます。

本案は、歳入歳出予算において、924万6,000円の減額補正でございます。

内容について申し上げますと、歳入につきましては、循環型社会形成推進交付金の減

額、歳出につきましては、ごみ処理施設等建設費における委託料の減額でございます。

歳入におけます循環型社会形成推進交付金でございますが、地域計画に基づき、1,380万円の予算を計上しておりましたが、環境省からの内示額が455万4,000円であるため、その差額924万6,000千円を減額し、歳出につきましては、業務委託の内容を一部見直し委託料の減額としたものでございます。

以上、よろしくご審議のうえ、原案のとおり議決くださいますようお願い申しあげまして、提案理由の説明といたします。

議長（小林信君）説明が終わりました。質疑を行います。

2番 篠木正明君。

2番（篠木正明君） それでは、お尋ねしたいと思います。まず、歳入の方で、循環型社会形成推進交付金が減になったってことですが、減額の幅が非常に大きいですね。当初予算の33.3%の数値にしか、採択にしかんなかったということで、この辺の見込みがどうであったのか、あまりにも差額が大きいので、その辺の最終予算を立てたりした時点での見込については、どうであったのかを1つ、それと歳出なんですけど、それに伴って、各種委託料を見直して減額したっていうんですが、これを見ますと、当初予算になかったりサイクルセンター建設地地形測量業務委託料ですとか、最終処分場用地事業認定申請書類作成業務委託料ってのは、当初予算になかったんで、これを除いて考えますと当初予算の67.5%にまで、事業の委託料を減らしてるんですが、これで本当に執行っていうか、あの出来るのかどうか、その辺について、どう考えているのかお尋ねします。

議長（小林信君） 事務局長、阿部正君。

事務局長（阿部正君） まず、第1点目の歳入額が大分少ないって、これにつきましては、少ないということですが、たまたま、あの、3月11日ですか、東日本大震災、この影響が大分あるんじゃないかと思うんですが、これ、あの事前にその減額の話は全くなくて、震災でもって、そちらの方に費用が大分割かれるような話でもって、新規事業で、うちの方は今回、交付金、1回、第1回目の年になって、それが3分の1になってしまった。そういうことでございます。それと、減額の幅が多いって言うことで、本年度の事業に支障はないかということだと思うんですが、当然その従来の設計で見込んだやり方ですと、当然その予算では収まらない、そういうことも考えられました。よって、本来、どうしてもやらなくちゃならないところは、最低やって、やらなくても良いような、例えば、熱回収施設、館林市清掃センターの敷地、測量関係ですと、旧来の敷地の測量を調査した結果、それが、今回のうちの方のデータの事業とオーバーラップして、参考になるような数値が、数値が得られれば、そういうのを除いていく形にもって経費を削減していく、どうにか減額になった予算の中で進めていく、そういう事情でございます。

議長（小林信君） 2番、篠木正明君。

2番（篠木正明君） まず、あの交付金の減なんですけど、東日本大震災の影響で削られた

という事なんですけれども、私もこの交付金の要綱自身は良く承知してないんですが、事業費の何パーセントとかで、そういうんで出るもんだと思うんですよね。そうしまうと、こちらであげた事業費が、交付対象として認められなかったということなのかなと思うんです。その辺はどうなんでしょうか。それと、歳出の方ですが、この当初予算の委託料も組むときは、別に使うっていうか、大体この位ってんで、予算を立てたんじゃないかと私は思うんですが、これだけ掛かるっていう積み上げをして、予算化したと思うんですけれども、そこから考えると全体として、65.7と言いましたけれども、例えばですね、熱回収施設建設地地形調査業務委託料などを見ますと当初は450万が150万減らされ、300万、3分の2の予算でやるっていうことになっているんです。それで無理がないのかどうか。今、あの例えの話で、熱回収施設について、今の館林市の清掃センターを測量したデータを使うことによって、経費を圧縮したっていうんですけれども、そういうことができるのであれば、当初予算の時から、そういう使えるデータを使って、できるだけ事業費を抑えるって、予算の組み方をすべきだったと思うんですけれども、どのように考えられますか。

議長(小林信君) 事務局長、阿部正君。

事務局長(阿部正君) ただ今の質問に対する答えですけれども、交付金に関してはですね、これはあらかじめ、その県との協議をもって、申請して通知を出しております。当初は、一般的にその今回の様な大震災がなければ、その額は、100%内示があったんじゃないかなと、そんなふうに考えております。それとあと、熱回収施設の関係で、事前にもっと精査して、金額を明確な線でもって申請した方がよろしいってのは、全くその通りですけれども、この民地の用地買収なんても、色々その後出てくることもありますし、境界確定とか用地測量費、この辺を計上していた関係もありまして、その分が減額、そういう事でございます。以上です。

議長(小林信君) 2番、篠木正明君。

2番(篠木正明君) よく聞いてよく分かんないんですけど、そうすると当初予算っていうのは、実際に掛かる費用より大分多く見積り過ぎていたのかどうか、結果として、その辺が分かんないんです。それで、交付金の額が減ったからって、歳出の額を減らして合わせてあるんですけれども、もし当初予算が実態の経費に近いとすれば、交付金が減ったとすれば、その分を一般財源の方からもってきて、手当てをして事業をやるんが、私は本当だと思うんですけども、その辺の関係よく分かんないんですね。もし、あの、これだけ減らした補正を組んだ減額で出来るとしたら、当初予算が多く見積り過ぎていたんだと思いますし、当初予算が正しいんだとすれば、無理に減額をして、業者にこの値段で、やれって、事を押しつけることになると思うんですけども、その辺は、どっちなんです。明確にどっちか答えて下さい。それによっては、私の態度も変わりますんで。

議長(小林信君) 事務局長、阿部正君。

事務局長(阿部正君) ちょっと、説明が足らなくて申し訳ないんですけども、これは、もとも

と、あの熱回収施設ですか、館林市の一つの例として申し上げているんです。

もともと、あそこに熱回収施設を建設するっていう話で進んでいるわけじゃなくて、館林市のどこかという形でもって、計画が進んでましたので、それなりの施設、業務委託に関する積算についての、従来、最低限必要なものは全部加えてみてた、いうことでもって計画は間違いなく、その辺はやっております。以上です。

議長（小林信君） 質疑を打ち切ります。

討論を行います。

（「討論なし」と呼ぶ者あり）

議長（小林信君） 討論を打ち切ります。

採決いたします。

議案第8号を原案どおり可決することに賛成の方は、挙手を願います。

（ 挙手多数 ）

議長（小林信君） 挙手多数。

よって、議案第8号は原案どおり可決いたしました。

第 8 管理者の挨拶

議長（小林信君） 以上で本日の議事日程の全部を終了いたしました。

この際、管理者からご挨拶したい旨、申し出がありましたので、これを許します。

管理者、安楽岡一雄君。

管理者（安楽岡一雄君） 本日は、平成23年館林衛生施設組合第2回定例会を開催いたしましたところ、議員の皆様方には大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

また、提案した議案を可決していただきまして厚くお礼申し上げます。

今回、明和町より奥澤さん、野本さんの2人の議員さんが、組合議員になりました。どうぞよろしく願い申し上げます。

館林環境センターの処理の状況を申し上げますと、平成22年度の総処理量は、25,091キロリットルで、前年度より1,115キロリットル、比率にしてに4.3パーセント減少となりました。

また、一般し尿と浄化槽汚泥の搬入比率ですが、一般し尿が17.3パーセント、浄化槽汚泥が82.7パーセントとなり、当初計画時とは、まったく逆の処理条件に変わってきております。

このような状況下であります。今後におきましても処理工程において支障が生じないよう、施設の点検整備を適切に行い、処理に万全を期していきたいと考えております。

また、館林市、板倉町、明和町1市2町によるごみ処理共同事業の事務が本組合に移行して2年目に入りました。

現在、循環型社会形成推進交付金を活用した計画支援事業として、ごみ処理施設整備基本計画等の策定業務を進めているところでございます。

このように衛生施設組合の果たす役割は、非常に重要でありますので、議員各位に、おかれましても、あらゆる形でご指導、ご支援をいただきますように、心からお願い申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。

本日は、大変ありがとうございました。

第 9 閉 会

議長(小林信君) 以上をもちまして、館林衛生施設組合議会第2回定例会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

(午後2時55分閉会)

平成23年 月 日

議 長 小 林 信

議 員 篠 木 正 明

議 員 岡 村 一 男